

思い出の昭和史

【 昭和10年 】(1935年)

どんな年？	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の国は天皇が統治するという「国体明徴」声明。これにより、絶対である天皇の権威と力を利用して国家が運営されていきます。社会の底流に極めて不気味な「動き」が始まった年です。自由な言論は封殺され、軍国主義化が進みます。 ・紙芝居が全盛。東京市内の業者は約 2300 人。毎日 100 万人前後の児童が紙芝居にひきつけられていた。
主な出来事	<ul style="list-style-type: none"> ・吉岡隆徳、100メートルで10秒3の世界タイ記録(暁の超特急) ・喫茶店流行。月賦販売流行。 ・伊豆・熱海温泉街賑わう(丹那トンネル開通効果) ・警視庁、パトカー(無線自動車)の使用開始。 ・風呂付特急「富士」(東京 下関間)登場(1等・2等客限定入浴料30銭)。 ・忠犬「ハチ公」死亡 ・満州国皇帝「溥儀」来日 ・台湾大地震(M7.1 3,000人以上死亡)
世相・流行	天皇機関説 国体明徴 人民戦線 昭和の岩窟王
話題の本	丹下左膳(林不忘) 人生劇場・青春編(尾崎士郎) 夜明け前・第2部(島崎藤村) 雪国(川端康成) 吉川英治「宮本武蔵」朝日新聞に連載開始
人気映画	忠次売り出す 雪之丞変化 エノケンの近藤勇 お琴と佐助 この子捨てざれば 東京の宿
はやり歌	旅笠道中 野崎小唄 むらさき小唄 大江戸出世小唄 船頭可愛いや 二人は若い 明治一代女 緑の地平線 もずが枯木で
賃金	
物価	たばこ(ゴールデンバット)7銭、新聞購読月90銭 はがき1銭5厘もり、かけ10銭 白米(10kg)2円50銭
来る人	倉本聰 小山明子 大江健三郎 大藪春彦 野村克也 小澤征爾 寺山修司 堺屋太一 筑紫哲也 蜷川幸雄
往く人	坪内逍遙(75歳) 与謝野寛(鉄幹)(62歳) 林不忘(35歳) 寺田寅彦(57歳)

日本的ファシズムの胎動、その後の「戦争」という軍事政策への道筋。